

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP1-18
研究課題名	平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」の情報移管に係る計画書(RP6-15「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」の補遺)
研究責任者(所属)	大久保利晃(放射線影響研究所)
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：平成 26 年 1～3 月に、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業研究班(大阪大学、自治医科大学他)により「東京電力福島第一原発作業員の甲状腺の調査等に関する研究」として、原発事故に伴う緊急作業に関わられた方および緊急作業には携わられなかった東京電力とその協力会社の社員の方を対象に、甲状腺超音波検査を実施し、結果を比較することで、放射線ばく露による甲状腺への影響を調べました。その後より幅広い研究として、平成 26 年 1～3 月の研究に参加頂いた方を対象に含む、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究(統括研究機関放射線影響研究所)」が組織され、研究が継承されています。そこで、平成 26 年 1～3 月の研究で得られた貴重なデータを「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」に移管し、今後の放射線被ばくの甲状腺への影響の検討に用いることを目的としています。</p> <p>利用方法：平成 26 年 1～3 月に甲状腺超音波検査を受けられた 2,064 名から甲状腺に関する情報の研究での利用を拒否された方を除き、自治医科大学から放射線影響研究所への情報提供について拒否の意思を示していない方の情報を、自治医科大学から放射線影響研究所へ移管し、現在、移管した情報は、施錠可能な部屋の施錠可能な保管庫の中に収納しています。今後、東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究の対象の方を、自治医科大学から放射線影響研究所へ移管した情報に含まれる方と照合し、自治医科大学から放射線影響研究所へ移管した情報を東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究の対象の方と対象ではない方に分類します。</p>
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有(提供先機関： ) <input checked="" type="checkbox"/> 無

利用し、又は提供する 試料・情報の項目	利用する情報 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究が保有する情報：氏名、中央登録番号 自治医科大学から放射線影響研究所へ移管した情報：氏名、中央登録番号
利用する者の範囲	放射線影響研究所 大久保利晃 喜多村紘子
試料・情報の管理に責任を 有する者の氏名又は名称	大久保利晃（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	研究担当者 氏名：喜多村紘子 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 緊急作業従事者健康調査室 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 電話：082-261-3131